

## **12%安 1万2千835円に** **3年産米平均価格1～2千円下げ5割**

農水省はこのほど、昨年9月～今年8月にコメの出荷販売業者・団体から報告を受けて調査した結果を踏まえ、令和3年産米（主食用うるち米1等）の年産平均価格（相対取引価格の加重平均）を集計して発表した。全産地品種銘柄の加重平均で算出した年産平均価格は60<sup>\*</sup>税込み1万2835円（運賃・包装代込み）となり、前年から1694円（12%）の下落となっている。

発表対象となった118銘柄のうち、前年産の価格を上回っているのは新潟魚沼コシヒカリ（前年比81円高の2万0417円）のみ。これを除き、前年と比較可能な115銘柄が前年を割り込んでいる。

下げ幅は、最小で山形つや姫の前年比78円（0.4%）安、最大で福井ハナエチゼンの3112円（22%）安。三重キヌヒカリ（1万0938円）の下落も3022円（22%）安と大きい。3000円以上の下落となったのは、この2銘柄に限られる。

前年から1000円以上2000円未満の下落となったのは58銘柄で、全体の5割に当たる。次のような銘柄がこのグループに含まれる。▷北海道ななつばし（前年比1707円安の1万2675円）▷青森まっしぐら（1879円安の1万0798円）▷宮城ひとめぼれ（1245円安の1万2849円）▷秋田あきたこまち（1653円安の1万2800円）▷山形はえぬき（1867円安の1万2101円）▷茨城コシ（1893円安の1万1431円）▷富山コシ（1688円安の1万3764円）▷滋賀コシ（1624円安の1万3634円）▷島根コシ（1882円安の1万3515円）▷福岡夢つくし（1592円安の1万4730円）。

全体の4割となる45銘柄は、前年から2000円以上3000円未満の幅で下落している。次のような銘柄だ。▷青森つがるロマン（2040円安の1万1334円）▷福島中通コシ（2201円安の1万1044円）▷千葉ふさこがね（2885円安の1万0201円）▷富山てんたかく（2099円安の1万2363円）▷三重一般コシ（2389円安の1万2472円）▷滋賀キヌヒカリ（2426円安の1万1776円）▷熊本ヒノヒカリ（2112円安の1万3298円）。

年産平均価格は、令和元年産の1万5716円から▷2年産1万4529円（前年比1187円＝8%安）▷3年産1万2835円（1694円＝12%安）——と2年連続で下落。2年間の合計で2881円（18%）下落した。4年産は作付転換や農業資材などの高騰を踏まえ、概算金など集荷価格と同様に多くの産地で相対価格の引き上げが行われる。販売動向に与える影響が注目される。